

## 中小の技、次世代小型旅客機に

### 部品に微粒子噴射 金属疲労強度向上

不二製作所（東京都江戸川区、間瀬恵二社長、03・3686・2291）は、三菱重工業から次世代小型旅客機「ミツビシ・リーシヨナル・ジェット」（MRJ）で使われる部品を表面加工するショットピーニング装置を受注した。翼の骨組みとなるアルミ部品に微粒子（素材は非公表）を噴射し、金属疲労強度を向上させる装置。マイクロメートル（マイクロは100万分の1）単位の微粒子による表面加工技術が航空機部品に採用されるのは初めてとい

### 不二製作所 三菱重から受注

う。

受注台数は1台で、10月までに納入する。受注金額は、数千万円とみられる。

同社の従来装置は直径0・5ミリ前後の鉄球を空気で噴射し、表面加工していた。今回は鉄球とは異なる微粒子を噴射することで表面をむらなく滑らかにし、部品の金属疲労強度を向上させる。また、新装置では加工履歴を残すため、ノズル内にセンサーを設けるなどトレーサビリティ（追跡可能性）に対応した新システムも導入した。同社はMRJでの実用化をきっかけに、米ボーイングや欧エアバスなどへも拡販し、約20億円の販売を目指す。